

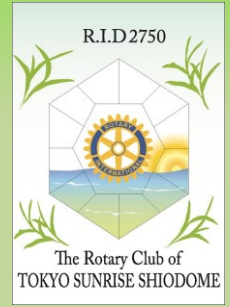
◆ WEEKLY REPORT ◆

R.I.D.2750 Chiyoda & Pacific
Basin Group
The Rotary Club of
TOKYO SUNRISE SHIODOME



R.I.会長 ステファニー・A・アーチック

2024-25年度 会長 蛭谷 要之介
クラブテーマ「Fun Makes Magic！」



No.375 29 Aug. 2024 発行

第380回 オンライン例会

【日時】2024年8月22日(木) 12:30~13:30
【例会出席】会員数 13名 名誉会員 5名 出席者 8名 ビジター 0名 ゲスト 0名
【出席率】61.5% 【修正出席率】76.9%
【ニコニコBOX】¥2,000—

《プログラム》

◇ 開会点鐘

◇ 会長挨拶

先日 WHO からガザ地区でポリオの感染が何年かぶりに確認されたと報告がありました。我々の目標のポリオ撲滅に問題が起きているように思います。皆さんポリオ撲滅にご協力をお願いします。

◇ 幹事報告

10月20日(日)六本木のパークヒルズに集合で、世界ポリオデーのイベントがあります。参加申し込みは事務局までお願いします。YFR からピーター・ベルマンさんとアンドリュウ・ウォンさんのお別れの会を行います。9月28日東京夢の島マリーナで13時からです。こちらは代表の梅澤さんまでお願いします。

◇ 委員会報告

愛知とし子副会長：先日無事 GG の補助金が振り込まれました。これで無事に活動が出来ます。

梅澤武男会員：来週の納涼夜間例会ですが、17時開会で調布の水神苑です。当日調布駅から送迎バスが16:30に出ますので、集合をお願いします。

山本直道会員：キャンディメトロポリタンへの送金は先方にも確認出来ました。プロジェクトの詳細等はまた改めて報告させていただきます。

◇ 出席報告

◇ ニコニコボックス

梅澤武男：今日は孫のジュニアオリンピック全国水泳大会に来ております。

司 会：杉崎吉則幹事

蛭谷要之介会長

蛭谷要之介会長

杉崎吉則幹事

◆会長：蛭谷要之介 ◆幹事：杉崎吉則 ◆副会長：愛知とし子【発行責任者】

【創立】2014年10月15日【例会日】毎週木曜日 12:30~13:30【例会場】ザ ロイヤルパークホテルアイコニック東京汐留
〒160-0022 東京都新宿区新宿 6-18-3 (南エルーデ内) / TEL:03-6380-5798 / FAX:03-6273-1196

【URL】<https://suns-rc.org/> 【E-mail】office@suns-rc.org

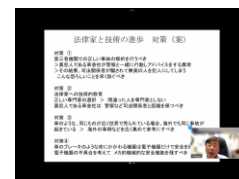
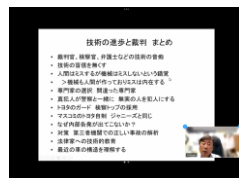
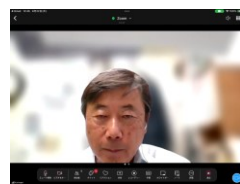
◇ 卓話『技術の進歩と裁判について』

昨今起きる高齢者のアクセルとブレーキの踏み間違えによるとされる大きな事故を色々と調べると、明らかにおかしな事が有るという事に行きつきました。高齢者のこういった事故は日本のみでこういう風に言われていて、アメリカでは10年程前から同じ事故が起っています、車側の異常という事になってきています。

こういった新しい技術に対する司法関係者(警察・検察・裁判所・弁護士)の知識不足と技術に対する妄信が有るように思います。専門家と言われる方達も実は分かっていない事が多いようです。会社に対する第三者機関も有りません。この事を調べようと思ったきっかけは、買ったばかりの会社の車のバッテリーが2~3か月に1度バッテリーが全く空になる不具合が起きました。ディーラーに持って行っても車に異常は無いと言われました。しかしまた同じ不具合が起り、ディーラーからはまた同じ回答でした。徹底的に検査した結果、ドライブレコーダーが異常な動きをして大電流が流れてしまうことが分かり、純正部品ですがある中国の会社が作っているという事が分かりました。事故を起こした車には「ドライブ バイ ワイヤー」の問題が有ります。これはアクセルペダルはアクセルに直結しておらず、ブレーキペダルもブレーキに直結していません。実際には基本ソフトの異常が原因でアクセルペダルが踏まれていないのに暴走し、ブレーキペダルを踏んでもブレーキは効かず、ブレーキランプも付きません。これはまさにソフトのバグです。数万行、数十万行もかかれた機械の動作プログラムに潜む異常なプログラムの一部で、これは通常の動作では何も問題なく作動していますが、いくつかの特定の条件が揃った時に異常な動きをします。しかし特定の条件が揃う事は稀なので、異常の発生頻度はとても少ないのです。ソフトのバグは簡単には直せません。何故なら直すと関連したプログラムに影響が出てしまうからです。事故を起こした当人のみが全ての罪をかぶせられるのは非常に不公平な事です。今後、この様な事件が正しく裁かれる為にはまず適切な専門家が必要だと思えます。現在関わっている人たちはその分野の専門家でないことが多く、肩書のみで判断されていたりします。第三者機関での正しい解析を行う事はとても大切で冤罪に成り得る事例を回避するために必要なことだと思えます。そして法律家への技術的教育も必要だと思えます。正しい専門家を選択するためには裁判に深く関わる人たちにも、適正な知識を持って関わってほしいと思えます。そして車のように同じものが広く世界で売られている場合、海外でも同じ事故が起きます。なので日本だけでなく海外の事例なども広く集めて参考にすべきだと思えます。

車のブレーキのような命に係わる機器は電子機器だけで安全を確保するのは不可能ではないかと思えます。電子機器の不具合を考えて、メカ的、機械的な安全機能を残しておくべきではないかと考えます。

熊谷行裕会員



◇ 講評

8桁なり16桁または32桁の0と1の繋がりになっていくところのタイミングで起こってしまう不具合を全て見つけるのはとても難しい事だと思っています。しかしながらこういった事故が無くなることを期待したいと思います。

蛭谷要之介会長

◇ 開会点鐘

蛭谷要之介会長

《今後の主な行事予定》

- ◇ 8月29日 納涼例会
- ◇ 9月26日 ガバナー公式訪問

《今後の例会スケジュール》

- ◇ 8月29日 納涼夜間例会
- ◇ 9月 5日 12:30~13:30
- ◇ 9月12日 12:30~13:30